

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 25 年 3 月 22 日作成

事務事業名	JAこま野活動支援事業			所属部局	農林商工部	単位番号	6043				
				所属課室	農林振興課	課長名	築野剛司				
				所属担当	農業振興担当	担当者名	山本 敏				
基本政策	II にぎわいと活力あふれる都市づくり			予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	07 農林水産業の振興				01	一般	06	01	03	020	07
施策	12 生産を支える基盤の整備充実			事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業	<input type="checkbox"/>				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	南アルプス市農業振興事業補助金交付要綱						
事業の内容: 期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載				事業費の主な内訳 (24年度 決算見込)							
事業の概要	・巨摩野農業協同組合の活動に対して補助金を出す事務事業。 ・巨摩野農業協同組合の補助内容 ①営農指導員設置事業(営農指導員が果樹や野菜の作り方、農薬散布の仕方を組合に指導する) ②環境保全型害虫防除事業(安全使用基準に従って消毒をする、農家にも指導) ③野鼠駆除対策事業(遊休農地に発生する野鼠を駆除する) ④観光農園振興事業(さくらんぼ狩り)				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
					協議会・協会・団体補助金	7,100			計		7,100

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動	24年度活動実績	當農指導員等設置事業、環境保全型害虫防除事業、野ねずみ駆除対策事業(観光農園振興事業は観光協会へ移管)
	25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	JAに所属する農家 観光の登録をしているさくらんぼ農家(H23から観光協会へ移管) (補助対象:JA)	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	農業技術の指導・支援、產品の啓蒙を行い生産力の向上や販路の拡大を図る	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農家の生産を安定・拡大させることで農業の振興を図る	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:指導事業に費やした経費		千円
イ:		
ウ:		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:組合員数		人
イ:		
ウ:		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:耕地面積(農林業センサス)		ha
イ:捕獲した有害鳥獣数		頭
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:委託販売品取扱高(JA事業報告)		百万円
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間事業費	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円	7,100	8,006	7,822	7,642	0	0
トータルコスト	人件費	事業費計 (A)	千円	7,100	8,006	7,822	7,642	0	0
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間	16	16	16	16	16		
	人件費計 (B)	千円	63	63	63	63	0	0	0
	(A)+(B)	千円	7,163	8,069	7,885	7,705	0	0	0
活動指標		ア	千円	46,319.0	48,000.0	48,000.0	48,000.0		
対象指標		イ							
成果指標		ウ							
上位成果指標		ア	ha	1,860.0	1,860.0	1,860.0	1,860.0		
		イ	頭	1,200.0	1,200.0	1,200.0	1,200.0		
		ウ							

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の市町村合併以前から実施しており、経緯及び開始年など不明
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	今後は、農家の高齢化や後継者不足に対応するには農協の指導力は必要であり、今まで以上に求められてくる。行政のバックアップはさらに必要である。反面、組織改革が遅れており、大胆な経営改革が必要であると推測される
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	補助金額の現状維持の要望あり。補助金額のみの運営になりがらで、さまざまな場面で追加補助を要求される傾向がある。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	合併協定書に基づいて事業の補助を実施しており、約束期間内の2012年まで補助額は除き補助内容は担保されていると考えられていたため。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	補助額の縮減(枠配分額の減少分)

事務事業名	JAこま野活動支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 地域の特性を活かした農業生産と、生産から販売まで一貫した指導の強化と生産性の高い農業を行うことで、活力ある産地づくりが図られている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 JAこま野の活動を支援することにより市の基幹産業である農業への支援となり、生産性の向上など農業の衰退の防止につながる。 特に労働力が少ない、高齢者の小規模農業を保護する上で、JAの存在意義は大きい。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
有効性評価	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 本市の農家で構成する団体であり、農業振興を図っていることから妥当である。今後は、農家の高齢化や後継者不足に対応するためには農協の指導力は必要であり、今まで以上に求められてくる。より一層の行政のバックアップが必要となってくる
	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 農業者のための事業を効果的かつ効率的に進めているのか、検証する必要がある。
効率性評価	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 農業の6次産業化を推進していくなかで、観光分野など観光協会、商工会への補助と目的が重なる部分が発生する <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 JAこま野の事業費に占める市からの補助金の割合が20%なので廃止すると組合の運営にも支障をきたし、農家に影響が出るので廃止は組合員に大きな影響がある
公平性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 農協組織の適正性を検証し、企業診断などにより、合理化の可能性を検討し、必要に応じて合理化を促すことで、効率的な補助金の執行が可能となる。 具体的には、補助金交付の要件として、企業診断を義務付けるなどが考えられる。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金の申請書及び実績報告書などの処理業務であり、この事業に対する職員の関与時間は最小であると思われる
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 JAこま野の活動を支援することにより市の基幹産業である農業への支援となり、生産性の向上など農業の衰退の防止につながる。 農協に加入しない、農業生産法人や個人農家への支援は、別途講ずる必要がある。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	高齢化や後継者不足により農家も減少していくと思われるから、担い手の確保、農業後継者会、新規就農者への支援をし、生産者に対しては、農業経営の活性化を図り所得率の良い地域農業の振興に努めるためには必要な策である。(H23記述)
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	しかしながら、農協組織を継続させるべき経営戦略が見えず、実質的には前年踏襲の運営になっており、組合員の高齢化と共に、農協組織の存続が強く危惧される。
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																			
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td>向上</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	コスト水準				削減	維持	増加	向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																				
	削減	維持	増加																	
向上	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
低下	<input type="checkbox"/>																			
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																				
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																				
(2) 改革改善案について	(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																			
①農協組織の企業診断などにより、課題を表出させ、組織改善を促すことで、組織のスリム化と体力強化を行い、持続可能性を確保した団体になる必要がある。	①JA幹部の経営意識の啓発、職員の積極性開発。																			
②	②																			
③	③																			
(5) 事務事業優先度評価結果	(10) 成果優先度評価結果																			
	(3) コスト削減優先度評価結果																			